

日本臨床栄養代謝学会
近畿支部・北海道支部合同
臨床栄養セミナー
プログラム集

会期：2023年11月5日(日)

会場：なんばスカイオ 7階

コンベンションホール

〒542-0076 大阪府中央区難波5丁目1番60号 7F

<https://www.nambaskyo-convention.com>



開催形式; 現地開催

会期後、オンデマンド配信を予定

選ばれる、 本当のチカラ



シンバイオティクス食品 シンプロテック

栄養補助食品

ヤクルト独自の2つの生きた菌
(乳酸菌 シロタ株とビフィズス菌 BY株)と
ガラクトオリゴ糖を一緒に摂れる
シンバイオティクス食品です。



ビフィズス菌生菌含有食品 ビフィズスプロ

栄養補助食品

大腸に生きてとどく
ビフィズス菌 BY株を配合した
健康をサポートする栄養補助食品です。

詳しい情報や
購入は
こちらから



「ヤクルトメディカルバイオーム」とは、ヘルスケア領域におけるさまざまな課題に対して解決のサポートとなるマイクロバイオーム(細菌叢)研究やそれに基づく食品開発、新たな価値の創造などのヤクルト本社の事業活動を包括的に表した、独自の造語です。

商品に関するお問い合わせ

株式会社ヤクルト本社

✉ mbiome@yakult.co.jp

〒105-8660 東京都港区海岸1丁目10番30号

開催にあたり

本セミナーでは、「今、現場で困っていることの解決」を目指し、近畿支部と北海道支部の合同で企画しました。日々の取り組みの中で感じている皆様の疑問を可能な限り取り上げます。

支部でも研究発表の場である学術集会は開催されますが、学術的なご発表・討論です。一方、実際の医療現場ではさまざまな試行錯誤があります。ガイドラインでの推奨を参考にしても、ガイドライン通りに栄養管理が進んでいくことが保証されているわけではありませんので、悩みは絶えないと思います。今回はそこに目をむけるセミナーです。皆様より各テーマに関連する質問をいただきました。たくさんの応募ありがとうございます。現場では「聞きたいことがある！」ということを再認識すると同時に、とてもモチベーション高い方がたくさんおられるのだとも感じました。

そして、今回の合同企画では、新しい取り組みとして、JSPEN 公式ウェブサイトの機能を利用した経費節減も図っています。現状では不都合な点がございますが、安価な学びの場としてご理解いただきたく思います。

現地会場でお会いできることを楽しみにしています。

近畿支部 支部長 飯島 正平

北海道支部 支部長 巽 博臣

日程表 2023年11月5日(日)

10:30 開始予定

10:30-10:40

【緊急調査】電子カルテ下栄養管理情報のICT化の現状調査結果

報告者 近畿支部 支部長 飯島 正平

10:40-11:40

栄養治療で薬剤師力を最大限に活かす！

座長：名徳 倫明 先生(大阪大谷大学薬学部薬学科 実践医療薬学講座)

講師：神谷 貴樹 先生

(滋賀医科大学医学部附属病院 医療安全管理部、薬剤部)

症例提示：藤田 和美 先生

(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

(休憩 20分)

12:00-12:50

【学術セミナー】(共催 大塚製薬工場)

実践しよう!!重症患者における早期栄養介入

座長：飯島 正平 先生(大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科)

講師：巽 博臣 先生

(札幌医科大学医学部 集中治療医学 / 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座)

12:50-13:10

【質問形式】このような時にどうする！早期栄養介入！

寄せられた質問にお答えします！

座長：飯島 正平 先生(大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科)

講師：巽 博臣 先生

(札幌医科大学医学部 集中治療医学 / 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座)

(休憩 20分)

13:30-14:30

PEG・PTEG のベストプラクティス

座長： 伊藤 明彦 先生(東近江総合医療センター 消化器内科)

講師：①「PEG の適応を見極める」伊藤 明彦 先生

(東近江総合医療センター 消化器内科)

②「PEG 患者のトータルマネジメント～病院から在宅まで」森安 博人 先生

(南和広域医療企業団 五條病院 内科)

③「PTEG を知る」島本 和巳 先生

(淡海医療センター 消化器内科)

(休憩 10分)

14:40-15:30

【スポンサードセミナー】(共催 イーエヌ大塚製薬)

口腔ケアのための実践ガイド -栄養管理と口腔-

座長： 村山 敦 先生(岸和田徳洲会病院 歯科口腔外科)

講師： 大野 友久 先生(浜松市リハビリテーション病院 歯科)

15:30 終了予定

- 全プログラム終了後、近畿支部世話人会を開催いたします。

会場案内

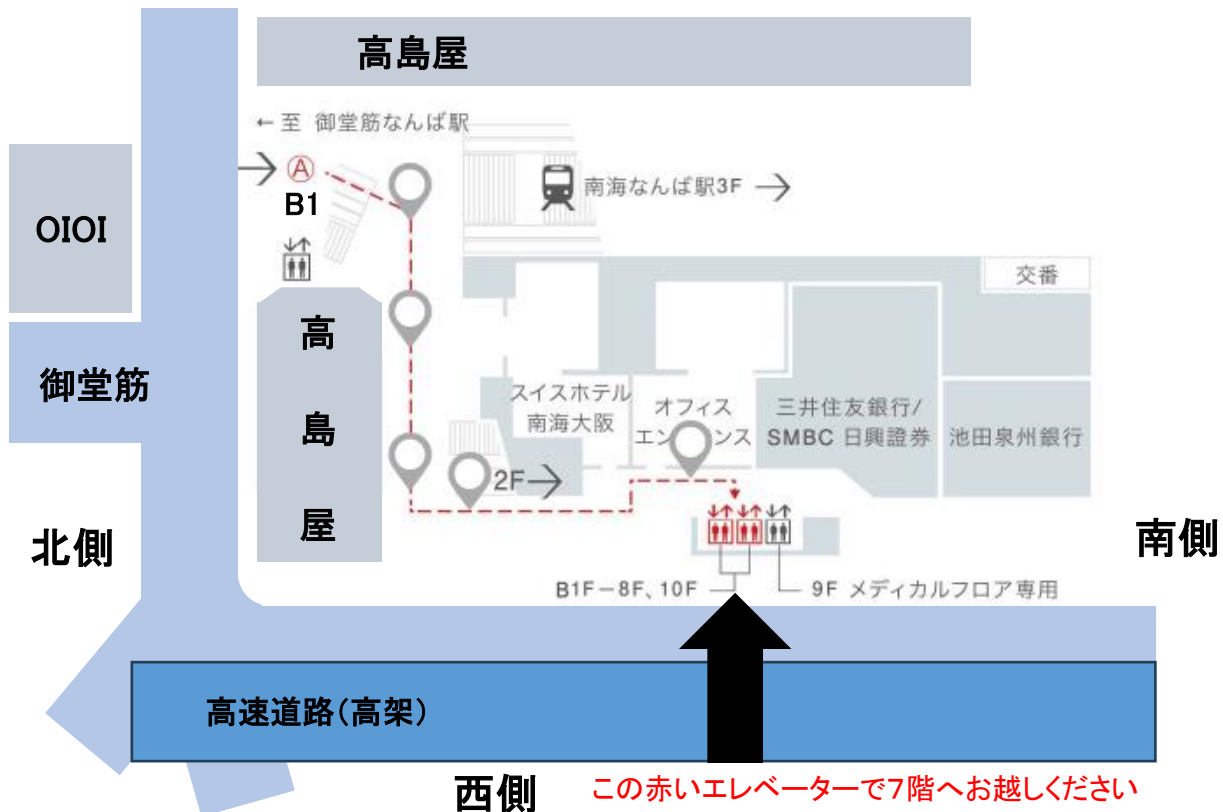
なんばスカイオ **7階** コンベンションホール

大阪市 なんば駅前

各駅改札口からのアクセス		
南海なんば駅	南海各線	約1分 →
なんば駅	地下鉄御堂筋線	約2分 →
大阪難波駅	近鉄奈良線、阪神なんば線	約5分 →
なんば駅	地下鉄四つ橋線、千日前線	約5分～8分 →
JR難波駅	新幹線・地下鉄御堂筋線	約10分 →

なんばスカイオ

高島屋大阪店西側(高速道路が並走)道路側のエレベーター(下図赤表示)で7階へお越し下さい。



スカイオ公式ウェブサイトにアクセスの説明動画があります。

<https://www.nambaskyo-convention.com/access/>

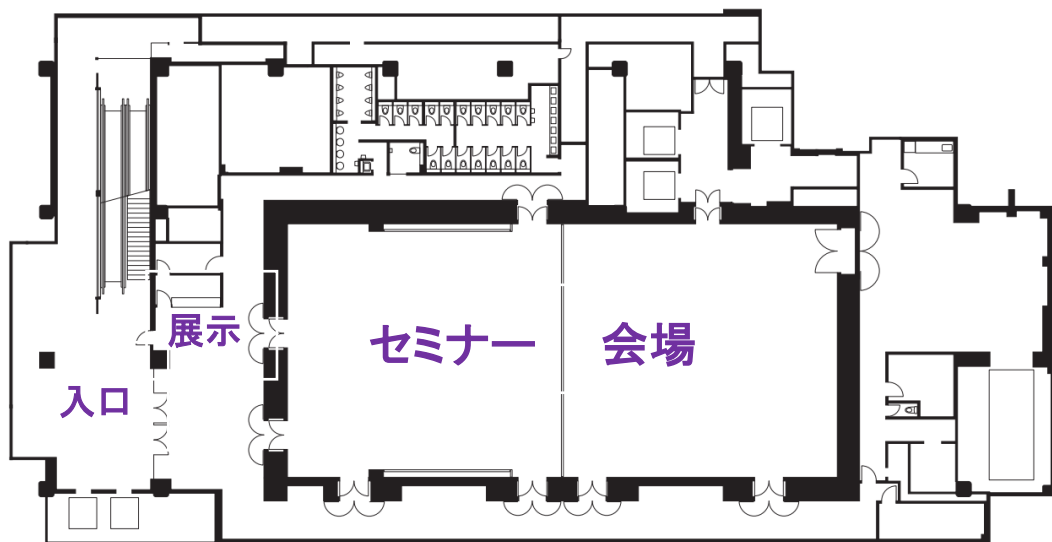


なんばスカイオ 7階

コンベンションホール(ホール A・B)

会場図

なんばスカイオ
コンベンションホール
<7階>



【展示】 会場受付前 ホワイエ

株式会社グリーンム

チーム医療システム「Kokuran Doc.」を開発・販売しています。

NST に必要な情報を電子カルテから取り込み、多職種で使用

できるので迅速に情報共有が行えます。給食システム・栄養指

導システムも取り扱っています。

参加者の皆様へのお知らせ

参加登録

参加費は会員 1000 円、非会員 2000 円、いずれも税込みです。JSPEN 公式ウェブサイトより事前にお申し込みください。参加の申し込み手続きが完了し、参加費のお支払いが確認されましたら、**受講票**がマイページ上に発行されます。ダウンロードの上印刷し、**当日持参ください**。

★受講票の場所；

マイページ内左の項目より確認できます。

セミナー ➡ 申込済セミナーと進むと

「申込完了」とステータスされている本セミナーが表示されます。その右側に、黄緑のボタンで「受講票」と「領収書」が表示されています。

受講票	領収書 (発行日)
受講票	領収書 2023-10-26

ボタンからダウンロードできます。

当日受付

1. **受講票は印刷して、当日持参ください**。引き換えに参加証を兼ねるネームカードをお渡します。記名の上、会場では着用ください。
2. **受講票のお忘れやスクリーンショットの提示では、入場時に確認のためお時間をいただくことがございます**。
3. カジュアルな服装でお越しください。
4. クロークはございません。
5. **朝、入場時のご注意**
 - (ア) 朝 10 時より開場を予定しています
 - (イ) 会場はなんばスカイオの 7 階です。会場案内に**赤く**表示している直通エレベーターが便利です。ただし、朝 9 時までにはエレベーターは会場のある 7 階には止まりませんので、ご注意ください。
 - (ウ) 朝 10 時の下層階のスカイオ店舗のオープンに合わせ、スカイオ内エスカレーターもご利用頂けます。

受講票について

本セミナーでは、参加費を削減するために、JSPEN 公式ウェブサイト内の「資格セミナーを運営する機能」を流用しています。そのため、一部で誤解をしやすい表記が自動で発行される受講票内「受講上の留意事項」に残っています。

下記で訂正をご覧ください。

- (ア) 参加時間は自由です。遅れての入場や早退も可能です
- (イ) 着席は自由です。
- (ウ) 受講票は入口で回収し、引き換えにお渡しする参加証をネームプレートとしてご利用下さい。会場内では受講票提示は必要ありません(会場はシアター形式で、机をご用意しておりません)。
- (エ) このセミナーで単位は発生しません。修了証の発行もありません。
- (オ) 緊急時の連絡先として、学会本部事務局の電話番号が表示されていますが、当日は日曜日のため留守番電話対応です。緊急時のみの対応となりますが、ご連絡は会場(なんばスカイオコンベンションホール)までお願いします。

お弁当について

お昼の学術セミナーでは、事前申込された方にお弁当を提供いたします。一旦退出いただき、先方左側通路から資料と一緒に受け取りご入場ください。

なお、飲食中の会話はご遠慮ください。

オンデマンド配信について

1. 現地開催終了後に、JSPEN 公式ウェブサイト内マイページから配信いたします。
2. 配信は、セミナー機能を利用しますので、セミナー用の形式での配信となります。一度視聴いただくと、早送りや途中再生が可能です。ご不便をおかけします。
3. 配信終了は 11 月末を予定しています。

事前申し込みされなかった方の参加について

1. 当日会場でも、参加受け付けは致します。ただし、事前申し込みとは手順が異なりますので、ご注意ください。

(ア) 参加費は会員・非会員とも 2000 円で、現金のみの対応です。

(イ) 参加申込書を用意していますので、現地で記載いただきます。記載された情報はオンデマンド配信時に利用しますので、お間違いないようにお願いします。参加申込書と引き換えに参加証を兼ねるネームカードをお渡します。記名の上、会場では着用ください。

(ウ) お弁当などの配布物はフードロス対応の観点で、事前登録された方への配布を想定しています。当日余りがある場合には提供できませんが、数には限りがあります。ご了承ください。

(エ) オンデマンド配信は、JSPEN 公式ウェブサイト内マイページから実施します。

●配信を希望される場合には、

1. 会員の方は、マイページから視聴ください。
2. 非会員の方は、JSPEN 公式ウェブサイトへの非会員登録が必要です。登録がない場合は配信を視聴できません。

プログラム

1. 電子カルテ下栄養管理情報のICT化の現状調査結果

報告者 近畿支部 支部長 飯島 正平

電子カルテは普及して20年が経ちましたが、栄養管理情報のICT化はテンプレート止まりで、表計算ソフトを駆使した活動と予想され、現場の苦勞が絶えません。

ICT化の現状把握のため、まずは近畿支部内世話人所屬施設で下記のような項目について調査しました。速報として報告します。

● 電子カルテシステムでの 栄養関連情報に関する質問

Q 現在運用中の電子カルテシステムでは 栄養管理関連情報などを集約し、確認・検討できるようなシステム(アプリケーションや画面)がありますか？

☛「ある」場合、どのような情報が存在しますか？ (複数回答可)

Q 栄養管理関連情報の集約し確認するシステムは必要と思いますか？

Q 電子カルテシステムで、実際に摂取し投与された一日栄養投与量や計画量を自動集計できますか？

☛「自動集計できる」場合

① 自動集計可能な項目を教えてください。 (複数回答可)

② 集計の精度について全般の印象をお願いします

● 電子カルテシステムでの NST 情報に関する質問

Q 電子カルテベンダーシステムには NST 業務を支援するシステム(部門システムなどを除く)が装備されていますか？

☛ 装備されている場合

① NST 支援システム(部門システムなどを除く)で可能な業務は？

② 電子カルテと連携して自動的に得られる患者情報は？

③ NST 支援システムに満足していますか？

④ NST 支援システム以外に使用しているツールはありますか？

Q NST の 電子カルテへの記録はどのようにしていますか？

2. 栄養治療で薬剤師力を最大限に活かす！

座長；名徳 倫明 先生(大阪大谷大学薬学部薬学科 実践医療薬学講座)

●薬学的介入を模索できる引き出しを増やすためのポイント

講師；神谷貴樹 先生(滋賀医科大学医学部附属病院, 医療安全管理部、薬剤部)

静脈・経腸栄養における処方支援や適正使用の推進、病棟薬剤業務から在宅医療までの栄養管理に対する薬学的支援が NST における薬剤師の活動指針として示されています。NST に携わる薬剤師の多くは服用薬剤や治療方針に至るまで幅広く詳細に情報収集しているのではないのでしょうか。一方で、時間的な制約もありながら患者にとって有効な薬学的介入を見いだすことは容易ではなく、演者自身も例外ではありません。今回は、これまで10年以上 NST に携わってきた経験をもとに、下記について紹介します

- 1) 情報収集の項目、
- 2) 静脈栄養輸液の計算のポイント、
- 3) 内服薬の評価、
- 4) 臨床検査データの見方等

また、経口摂取や経腸栄養がなかなか進まない時や目標となるエネルギー量やたんぱく質量の設定など、薬剤師が積極的に発言しにくい場面での介入についても触れていきます。

●症例提示；入院から在宅へ中心静脈栄養導入に向けて関わった症例

講師；藤田 和美 先生(神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

在宅での中心静脈栄養では、病院とは異なる環境でも継続可能なメニューの設定や患者のライフスタイルに合わせた投与スケジュールを検討する必要があります。TPN メニューのプランニングから合併症モニタリング、地域連携の取り組みについて紹介します。

【症例】

膵頭部癌浸潤による十二指腸狭窄にて胃-空腸バイパス術後の 50 代男性。閉塞性黄疸が発覚し、EUS-HGS にてステント留置後、ONS 開始となったが、消化器症状にて経口摂取が進まず NST へコンサルトとなった。今後、化学療法を導入予定であり、HPN で全身状態の改善を図る方針となった。目標投与量から在宅移行を見越してキット製剤によるメニューを設定した。Refeeding 症候群のリスクを考慮して栄養投与量を漸増し、高血糖、電解質異常、肝機能障害に注意しながら TPN 導入を行った。また、TPN 間欠投与移行時には血糖管理について病棟と共有するとともに、施設間薬剤情報提供書を用いてかかりつけ病院への情報共有を行った。退院 18 日後には化学療法導入可能なレベルまで栄養状態は改善し、HPN を継続しながら現在も化学療法を施行中である。

3. 実践しよう!!重症患者における早期栄養介入

座長； 飯島 正平 先生(大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科)

講師； 巽 博臣 先生(札幌医科大学医学部 集中治療医学)

重症患者での早期栄養介入は、多くの施設で行われていることと思います。しかし、実際には様々な課題があり、判断に困ることがあると思います。そこで、最新の知見を踏まえ、効果的な介入のためのノウハウをご紹介します。質疑の時間も長く設けます。

日本臨床栄養代謝学会 近畿支部・北海道支部 臨床栄養セミナー 共催セミナー

●開催日時：2023年**11月5日**(日) **12:00** ~ 12:50

●会場：なんばスカイオ コンベンションホール
〒542-0076 大阪市中央区難波5丁目1番60号 7F

座長：大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科
主任部長 飯島 正平 先生

『実践しよう!!重症患者における早期栄養介入』

演者：札幌医科大学医学部 集中治療医学 准教授
札幌医科大学附属病院 病院教授
巽 博臣 先生

共催：日本臨床栄養代謝学会/株式会社大塚製薬工場

★ 本共催セミナーのオンデマンド配信はありません

共催セミナー終了後 質疑時間をオンデマンド配信対応で設けています

【質問形式】このような時にどうする！早期栄養介入！

巽 博臣 先生(札幌医科大学医学部 集中治療医学)

飯島 正平 先生(大阪国際がんセンター 栄養腫瘍科)

質問、たくさんありがとうございました。

取り上げる予定の質問の一部を紹介します

1. 重症管理

- 重症患者の栄養療法を開始するタイミング
- 循環不全をきたす可能性のある重症病態での経腸栄養の安全性は？
- カテコラミンインデックスで経管栄養可能でも、IMPELLA・ECMO などに特有の注意点はありますか？
- ガイドラインを参考に行っているが、実際にはたんぱく質量やエネルギー設定が難しい！どうすればいいの？
- 炎症所見陽性の場合の介入での悩み
 - 炎症治療が優先され、栄養は制限を受けることがある！
- 重症肺炎で脂質はどのようなスタンス？
 - 投与する場合
 - いつ？ どのアクセス？ 投与量の注意は？
- 鎮静時にディプリバンを投与している際の脂肪投与の考え方
- 急性肝障害での栄養管理
 - 糖質の投与量
 - アミノ酸は？アミノレバン注の適応は？

2. 実際の取り組みを教えて

- 早期経腸栄養開始時の投与開始の判断
 - 胃内容量を参考にしている。経鼻胃管からの吸引量以外にいい判断材料はないですか？エコーは利用できますか？
- 経鼻胃管挿入は主治医判断では挿入までに時間がかかってしまう！
- 消化態栄養剤と半消化態栄養剤に変更する時期はいつ頃？何を目安にすればいい？
- 経腸栄養の開始は早いですが、その後の段階的な流量増加がなかなか進みません(数日間10ml/h のままなど)。
- 静脈栄養から経腸栄養への移行が実施されない！
- 脂肪製剤の使用が少ない！増やすには？
- 多職種カンファレンスに要する時間はどれくらいですか？
- 担当医が決断できない場合！

4. PEG・PTEG のベストプラクティス

座長 伊藤 明彦 先生

(東近江総合医療センター/滋賀医科大学総合内科学講座)

① 「PEG の適応を見極める」

講師;伊藤 明彦 先生

(東近江総合医療センター/滋賀医科大学総合内科学講座)

PEG は長期の栄養管理における最強のツールであるが、最近の風潮により「必要な人に適正に選択されている」とは言い難い。ここでは、NSTをはじめ臨床の現場で役に立つ、PEG を適正に選択するための考え方を紹介したい。

② 「PEG 患者のトータルマネジメント～病院から在宅まで」

講師;森安 博人 先生

(南和広域医療事業団 五條病院)

PEG 管理は造設病院から在宅まで、すべての行程で十分な知識・経験を持ったスタッフにより行われる必要がある。近年、PEG への関心が薄れ、多くの先達の知識・経験が失われつつあること危惧している。ここでは、造設した患者目線での各行程で遭遇する問題について広く考察したい。

③ 「PTEG を知る」

講師;島本 和巳 先生

(淡海医療センター)

経腸栄養や消化管減圧のためのアクセス確保手法として、内視鏡的に頸部に食道瘻を造設する PTEG という処置がある。低侵襲で、重篤な合併症が少ないことも示されているうえ、経鼻アクセスの苦痛からも解放される。通常、PEG が選択されるが、さまざまな理由で実施不可能な場合もあるが、PTEG はその場合の最も重要な選択肢である。ご存じの方も多いと思われるが、臨床的なメリットの多い PTEG をあらためて紹介するとともに、実践する上での課題も考えたい。

5. 口腔ケアのための実践ガイド -栄養管理と口腔-

座長；村山 敦 先生(岸和田徳洲会病院 歯科口腔外科)

講師；大野 友久 先生(浜松市リハビリテーション病院歯科)

口腔ケアの必要性は浸透していますが、より多くの方への対応も求められるようになりました。対象の拾い上げも含め、最新のケアについてお話しただけです。なお、この分野は2024年診療報酬改定でも議論に挙がっているようで、各施設でも取り組むべき領域となりそうです。

日本臨床栄養代謝学会
近畿支部・北海道支部合同 臨床栄養セミナー

スポンサードセミナー

日時 11月5日(日) 14:40～15:30

場所 なんばスカイオ
コンベンションホール

口腔ケアのための実践ガイド ～栄養管理と口腔～

座長 岸和田徳洲会病院 歯科口腔外科
副部長 村山 敦 先生

演者 浜松市リハビリテーション病院 歯科
部長 大野 友久 先生

共催： 日本臨床栄養代謝学会 近畿支部・北海道支部
イーエヌ大塚製薬株式会社

- 全プログラム終了後、近畿支部世話人会を開催いたします。